



2023～2024年シーズンにおける HPAI疫学調査報告書が掲載されました

【概要】

- ・我が国の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)は4シーズン連続の発生となった。
- ・今シーズンは野鳥の感染も多数確認されており、昨シーズン同様ウイルスの侵入リスクが非常に高かったが、家きん農場でのHPAI発生件数は10県11事例と過去4シーズンで最も少なかった。
- ・農場へのウイルスの侵入は、感染した野鳥やカラス類が農場周辺、農場内へウイルスを持ち込んだ可能性が考えられた。
- ・ほとんどの発生農場で壁やネットの破損部からの野鳥等の侵入、手指消毒等の不徹底がみられ、これらが要因となって家きん舎へウイルスが侵入した可能性が考えられた。
- ・今シーズンの発生件数が大幅に減少した理由として①野鳥の行動変化などの環境要因②ウイルス自体の性状変化③農場における飼養衛生管理の対策状況などが関与したと推測されるが、そのうち飼養衛生管理の対策は自律的に改善可能な取り組みである。

報告書では疫学調査チーム長が「現場の農場関係者など多くの方々の日常的な感染防止対策が果たした役割は極めて大きく、日々の地道な努力の積み重ねに対し心より敬意を表したい。」とコメントしています。また「来シーズンに向け、全ての関係者が一体となって対応し、全国的に更に厳重な防疫体制を構築されたい。」として調査を踏まえた来シーズンに向けての提言が記載されています。

報告書の詳細は以下の農林水産省HPに掲載されています！

 https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r5_hpai_kokunai.html#3

引き続き、衛生管理・防疫対策を徹底し、農場を鳥インフルエンザから守りましょう！！

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等 | <input type="checkbox"/> 家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用 |
| <input type="checkbox"/> 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用 | <input type="checkbox"/> 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置点検及び修繕 |
| <input type="checkbox"/> 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等 | <input type="checkbox"/> ねずみ及び害虫の駆除 |
| <input type="checkbox"/> 家きん舎に立ち入る者の手指消毒等 | <input type="checkbox"/> 異常の早期発見・早期通報の徹底 |

千葉県南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304 FAX 04-7092-1434

※急性悪性家畜伝染病(高病原性鳥インフルエンザ等)の早期対応のため、疑わしい症状があれば速やかに連絡してください。